



2018年5月21日

各 位

会 社 名 株式会社 エヌ アイ デイ
代 表 者 名 代表取締役社長 小森 俊太郎
(コード番号 : 2349 東証JASDAQ)

津田塾大学との共同研究開始のお知らせ

「ソーシャルビッグデータコモンズ群流可視化実験」及び「地域AI Q&A システム」に関して

来る2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据えて、外国人旅行者が急増することが見込まれています。この度、当社は、津田塾大学と共同研究契約を締結し、外国人旅行者の日本滞在中における利便性向上に資する「IoTとAIを活用したインテリジェントな社会データサービス基盤の構築」を目指した研究開発とデータ関連人材育成を行うことを決定しましたので、お知らせいたします。

本共同研究は、Wi-Fiシステムログ・センサライザーによるIoP (Internet of Persons)、Web予約データ・センサライザーによるWoR (Web of Resources)、及びAI (人工知能) とSNSを連動させたインテリジェントQ&Aシステムの共同研究開発及び社会実証実験を実施し、2020年でのAI/IoTサービスの実用化を目的とします。

具体的には、Webサイトに公開された、ホテルなどの宿泊施設、交通機関やスポーツ施設等のWeb予約履歴オープンデータ収集を行う「WoR」と、Wi-Fiアクセスポイント(基地局)が通信に先立ち検知するモバイル機器の位置ビッグデータを収集し、個人情報保護を行ったうえで集團の動き(これを「群流」といいます)を可視化する「IoP」を構築します。IoPデータを活用して、WoRの地域観光資源データを横断する官民データ連携基盤を開発します。さらに、インバウンド観光客の質問に自動的に対応するAIを用いたインテリジェントQ&Aサービスサイトを構築し、社会実証実験を行います。

今後の当社業績に与える影響につきましては軽微であります。当社は今後も、新規ビジネスにつながる産学官連携による研究活動を積極的に進めてまいります。このように、産学官連携による大都市における大規模イベントでの社会実装や、インバウンド観光・回遊に対するAI・IoT「おもてなし」支援を通し、官民学ビッグデータ・オープンデータ活用基盤の構築、さらには未来のAI・IoT社会の実現に貢献します。

共同研究者の紹介

森田 朗 津田塾大学 総合政策学科 教授

専門：行政学、地方自治研究、AI・IoT 社会

略歴：

1981年 - 1994年 千葉大学法経学部助教授・教授

1994年 - 2012年 東京大学大学院法学政治学研究科教授

2012年 - 2014年 学習院大学法学部政治学科教授

2014年 - 2017年 国立社会保障・人口問題研究所所長

2017年4月 - 現在 津田塾大学総合政策学部教授/三重大学大学院医学系研究科客員教授

曾根原 登 津田塾大学 総合政策学科 教授・総合政策研究所 所長

専門：情報学、IoP(Internet of Persons), WoR(Web of Resource)、ICT 技術と社会

略歴：

1978年 - 1986年 日本電信電話公社 横須賀電気通信研究所 ファクシミリ通信研究

1986年 - 1990年 ATR 視聴覚機構研究所 認知メカニズム研究

1990年 - 2004年 NTT ヒューマンインタフェース研究所 NTT サイバースペース研究所

NTT サイバーソリューション研究所 デジタル流通研究 研究主幹・部長(副理事)

2002年 - 2004年 東京工業大学大学院 理工学研究科 連携教授

2004年 - 2017年3月 国立情報学研究所 情報社会相関研究系 研究主幹・教授

【本リリースに関するお問い合わせ窓口】

株式会社エヌアイデイ 経理部企画IR課

電話：03-6221-6811 / F A X : 03-6221-6818